（路外駐車場用）

様式１０

判定結果	適合状況	措置状況
整備基準	合・否	指導・助言
表示板交付基準	合・否	――

※　この欄は記入しないでください。

整備基準チェックリスト

記入方法

○「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数字または措置の内容等を記入してください。
○「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。

記入例

	設計内容	適合状況
	(全駐車台数) 50 台 (内、車いす使用者用施設数) 1台	(合)・否

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
路外駐車場			
(1) 車いす使用者用駐車施設の設置	① 100台以下は1台以上、100台超は1/100以上設置	(全駐車台数) 台 (車いす使用者用) 台	合・否
(2) (1)の駐車施設の構造	① 区画の幅350㎝以上、奥行き600㎝以上	(幅) ㎝ (奥行き) ㎝	合・否
	② 当該区画又はその付近に車いす使用者用である旨を積雪等に配慮し見やすく表示	(表示) 有・無 (講じた措置)	合・否
	③ 歩行者用出入口又は車両用出入口から近い位置に設置		合・否
(3) 道路から駐車場へ通ずる出入口付近	① 車いす使用者用区画がある旨を積雪等に配慮し表示し、入口から車いす使用者用区画まで誘導	(表示) 有・無 (誘導) 有・無	合・否
(4) (2)③の経路上の構造	① 段を設けない（傾斜路併設時を除く）	(段の有無) 有・無 (傾斜路) 有・無	合・否
(5) 歩行者用通路の構造	① 滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)	合・否
	② 幅180㎝以上（出入口90㎝以上）	(幅員) ㎝	合・否
	④ 排水溝には、杖、車いすのキャスター等が落ち込まない構造の溝ふた	(排水溝の有無) 有・無 (ふたの目幅) ㎝	合・否
段がある部分	⑤ 両側に手すりを設置、手すりは端部が突出しない構造	(手すり) 有・無 (講じた措置)	合・否
	⑥ 段を識別しやすい色、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	⑦ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり) ㎝	合・否
	⑧ 高齢者、障がい者等が昇降しやすい段の幅、けあげ・踏面・踊場の幅	(講じた措置)	合・否
傾斜路	⑨ 傾斜（こう配>1/12 又は高さ>16 ㎝でかつこう配>1/20）がある部分の両側に手すりを設置、その他の部分には必要に応じて設置、手すりは端部が突出しない構造	(傾斜) 有・無 (こう配) ／ (高さ) ㎝ (講じた措置)	合・否

整備項目	整備基準	設計内容	適合状況
傾斜路	⑩ 幅180㎝以上、段併設の場合90㎝以上	(内法幅) ㎝ (段併設) 有 ・ 無	合・否
	⑪ こう配1/20以下（消融雪装置設置の場合は1/12以下）	(こう配) ／	合・否
	⑫ 高さ50㎝以内ごとに踏幅150㎝以上の踊場	(高さ) ㎝ (踏幅) ㎝	合・否
	⑬ 傾斜の前後の水平部分と識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
	⑭ 始終端部、曲がり角、折り返し、他の通路との交差部に踏幅150㎝以上の水平部分	(踏幅) ㎝	合・否
	⑮ 縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり) ㎝	合・否

規模又は構造、地形の状況等により、整備基準に適合させることが著しく困難な整備項目がある場合、記入してください。

整備項目	整備基準に適合しない理由	設計内容	代替措置等

（路外駐車場用）

様式１０

判定結果	適合状況	措置状況
整　備　基　準	合　・　否	指導・助言
表示板交付基準	合　・　否	――

※　この欄は記入しないでください。

記　載　例

整備基準チェックリスト

記入方法

○「設計内容」欄は、該当する整備項目について、必要な数字または措置の内容等を記入してください。
○「適合状況」欄は、該当するものを○で囲んでください。

記　入　例

	設　計　内　容	適合状況
	(全駐車台数)　50　台 (内、車いす使用者用施設数)　1台	(合)・否

整　備　項　目	整　備　基　準	設　計　内　容	適合状況
路外駐車場			
(1) 車いす使用者用駐車施設の設置	①　100台以下は1台以上、100台超は1/100以上設置	(全駐車台数)　52台 (車いす使用者用)　2台	合・否
(2) (1)の駐車施設の構造	①　区画の幅350cm以上、奥行き600cm以上	(幅)　350cm (奥行き)　600cm	合・否
	②　当該区画又はその付近に車いす使用者用である旨を積雪等に配慮し見やすく表示	(表示)　(有)・無 (講じた措置)　表示板の設置（高さ1.5m）	合・否
	③　歩行者用出入口又は車両用出入口から近い位置に設置		合・否
(3) 道路から駐車場へ通ずる出入口付近	①　車いす使用者用区画がある旨を積雪等に配慮し表示し、入口から車いす使用者用区画まで誘導	(表示)　(有)・無 (誘導)　(有)・無	合・否
(4) (2)③の経路上の構造	①　段を設けない（傾斜路併設時を除く）	(段の有無)　有・(無) (傾斜路)　有・(無)	合・否
(5) 歩行者用通路の構造	①　滑りにくい仕上げ	(仕上げ材)　ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装	合・否
	②　幅180cm以上（出入口90cm以上）	(幅員)　180cm（出入口90cm）	合・否
	④　排水溝には、杖、車いすのキャスター等が落ち込まない構造の溝ふた	(排水溝の有無)　有・(無) (ふたの目幅)　cm	合・否
段がある部分	⑤　両側に手すりを設置、手すりは端部が突出しない構造	(手すり)　有・無 (講じた措置)	合・否
	⑥　段を識別しやすい色、つまずきにくい構造	(講じた措置)	合・否
	⑦　縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり)　cm	合・否
	⑧　高齢者、障がい者等が昇降しやすい段の幅、けあげ・踏面・踊場の幅	(講じた措置)	合・否
傾斜路	⑨　傾斜（こう配>1/12又は高さ>16cmでかつこう配>1/20）がある部分の両側に手すりを設置、その他の部分には必要に応じて設置、手すりは端部が突出しない構造	(傾斜)　有・無 (こう配)　／ (高さ)　cm (講じた措置)	合・否

整　備　項　目	整　備　基　準	設　計　内　容	適合状況
傾斜路	⑩　幅180cm以上、段併設の場合90cm以上	(内法幅)　　cm (段併設)　有　・　無	合・否
	⑪　こう配1/20以下（消融雪装置設置の場合は1/12以下）	(こう配)　／	合・否
	⑫　高さ50cm以内ごとに踏幅150cm以上の踊場	(高さ)　　cm (踏幅)　　cm	合・否
	⑬　傾斜の前後の水平部分と識別しやすい色	(講じた措置)	合・否
	⑭　始終端部、曲がり角、折り返し、他の通路との交差部に踏幅150cm以上の水平部分	(踏幅)　　cm	合・否
	⑮　縁端は壁又は事故防止の立ち上がり	(講じた措置) (立ち上がり)　　cm	合・否

規模又は構造、地形の状況等により、整備基準に適合させることが著しく困難な整備項目がある場合、記入してください。

整　備　項　目	整備基準に適合しない理由	設　計　内　容	代替措置等